
愛知県美術館・愛知県陶磁美術館の 地方独立行政法人化の効果の検討

～制度導入による効果の検討結果～

2024年12月
愛知県県民文化局文化部文化芸術課

① 地方独立行政法人化の効果

- 「地方独立行政法人化」によって、県直営に伴う**公共特有の制約が解消**され、「**自主性に富んだ中長期的な美術館運営**」や「**学芸員の活動内容の充実や活動範囲の拡大**」による、**美術館の更なる魅力向上**の効果が認められる。

現状の課題

- 県直営では公共特有の制約が課題となっている

【経営・運営】

- 単年度主義の予算により、中長期的な経営・運営ができない
- 事務職員が2～3年で異動するため、美術館運営に精通した事務職員が育たない

【学芸員の活動】

- 職務専念義務により対外的な執筆や講演活動等が制限され、能力向上や連携強化の機会が少ない
- 学芸員の活動の重要性が、十分に可視化されていない



期待できる効果

- ◆ **自主性に富んだ美術館運営や学芸員の研鑽等により、美術館の魅力向上が期待できる**

【経営・運営】 自主性に富んだ中長期的な美術館運営

- 法人自らの判断で行う、企画展等で生じた剰余金を翌年度以降に活用する等の柔軟な財務運営による安定的な美術館運営
- 美術館運営に精通した事務職員の採用・配置による、美術館の経営・運営能力の向上、企画展等の安定的な開催

【学芸員の活動】 学芸員の活動内容の充実や活動範囲の拡大

- 対外的な執筆や講演活動等で研鑽を積むことによる学芸員の研究職としての能力向上や、大学をはじめとした外部との連携強化による美術館事業の充実
- 研究活動等の学芸員の活動の重要性が、中期目標や中期計画、業務実績評価によって可視化されることに伴う、学芸員の意識向上や美術館の事業の再評価
- 職務環境の魅力向上による、優秀な学芸員の採用

② 2館一体運営の効果

- 「2館一体運営」によって、単体運営に伴うデメリットが解消され、「運営の効率化」や「専門人材の配置」、「マネジメント機能の強化」、「学芸員の成長に資する環境整備」等により、美術館の安定的な運営や魅力向上の効果が認められる。

現状の課題

- 単体運営に伴うデメリットが課題となっている

【経営・運営】

- 両美術館それぞれに総務部門が存在する等、統合可能な業務がある
- 両美術館間の連携イベント等が少なく集客力向上の余地がある

【学芸員の活動】

- 人員不足により、学芸員が専門ではない広報等の業務にも従事している
- 両美術館間の交流が少なく、一体化による魅力向上の余地がある

【外部資金の獲得】

- 人員不足により効率・効果的な獲得ができていない

期待できる効果

- ◆ 運営の効率化や専門人材の配置、学芸員の成長に資する環境整備等により、美術館の安定的運営や魅力向上が期待できる

【経営・運営】 効率化や専門人材の配置、マネジメント機能の強化による安定的な美術館運営の実現

【学芸員の活動】 学芸員の成長に資する環境整備や両美術館の連携による美術館の魅力向上

- 総務業務等の統合による、美術館運営の効率化
- 効率化により生じた人件費を活用した広報・マーケティングや資金調達・内部統制等の専門人材の採用・配置に伴う、広報機能等の強化による来館者層の拡大や他館との差別化、マネジメント機能の強化による美術館の基盤的活動の充実・活性化
- 専門人材が配置され、学芸員が調査研究や研鑽等に専念し、成長できる環境が整うことに伴う、美術館の更なる魅力の向上
- 共同展示や共同研修等が実施され、両美術館の知見を併せ持つ学芸員の育成に伴う、美術館事業の魅力の向上
- 両美術館共通の割引チケット販売やイベントの実施等による集客力の向上

【外部資金の獲得】 外部資金獲得による安定的な美術館運営

- 相当の事務負担を要する国庫補助事業や科研費等への申請事務の2館一体化による、効率・効果的な外部資金の獲得